

- 問1 鹿児島県の桜島周辺では、噴火によって噴出された火山灰や火砕流が積み重なって形成された、水はけの良い台地が広がっています。この地形の名称と、その土地利用の特徴について説明したものの組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|---|
| 1. シラス台地と呼ばれ、稲作には不向きだがサツマイモなどの畑作が行われている | 2. 干拓地と呼ばれ、堤防で囲うことで海を陸地化し、広大な農地として利用されている | 3. シラス台地と呼ばれ、保水力が非常に高いため大規模な稲作が行われている | 4. 扇状地と呼ばれ、果樹園として利用されるほか、住宅地としても開発されている |
|---|---|---------------------------------------|---|
- 問2 日本の農業産出額の内訳において、ある県では「畜産」の割合が全体の約半分を占めており、米や果実中心の県に比べて圧倒的に高くなっています。このような特色を持つ、南九州に位置する県はどこですか。（2019年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 愛媛県 | 3. 新潟県 | 4. 青森県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問3 九州地方に位置するある空港は、国内の航空ネットワークにおいて極めて重要な拠点となっています。この空港と東京国際空港（羽田）を結ぶ路線の旅客数は年間約836万人に達し、国内最大級の規模を誇ります。また、大阪、那覇、中部、新千歳といった主要都市とも結ばれているこの空港の名称として正しいものを選択してください。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 鹿児島空港 | 2. 福岡空港 | 3. 北九州空港 | 4. 那覇空港 |
|----------|---------|----------|---------|
- 問4 沖縄県の産業構造が、他の都道府県と比較して第三次産業の割合が非常に高い理由として、地理的背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 内陸部に位置し、海から遠いため、海上輸送に依存しない精密機械工業や高度な情報産業が集中したため。 | 2. 高緯度で冷涼な気候を活かし、大規模な機械化農業と乳製品の加工販売が一体化しているため。 | 3. 広大な平野と豊かな水資源を活用した大規模な稲作が行われ、それに関連する製造業が発達したため。 | 4. 低緯度による温暖な気候やサンゴ礁などの自然資源を活かした観光業が、地域の経済を支える基幹産業となっているため。 |
|---|--|---|--|
- 問5 鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、火山噴出物が堆積してできたシラス台地では、その土地の性質からどのような土地利用が一般的ですか。最も適切な理由と内容の組み合わせを選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 年間を通して気温が低く土壌が凍結するため、農地にはせず牧草地として利用されている。 | 2. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくいいため、古くから畑として利用されている。 | 3. 土壌に塩分が多く含まれており農作物の栽培に適さないため、主に工業用地として利用されている。 | 4. 保水力が非常に高く、常に湿り気を帯びているため、大規模な水田地帯として利用されている。 |
|--|--|--|--|
- 問6 日本の品目別の食料自給率と小麦生産の実態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 近年、米の自給率は小麦と同程度の10%から20%まで急落しているが、それを補うために福岡県や熊本県といった九州地方での小麦増産が進められている。 | 2. 米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低く、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。 | 3. 小麦は米と同様に自給率が非常に高く、国内の需要をほぼ賄うことができているため、九州地方の全県が収穫量で全国トップ10に入っている。 | 4. 日本の小麦自給率は極めて低いため、国内での生産は北海道のみに限定されており、九州地方などの他の地域ではほとんど生産されていない。 |
|---|---|--|---|
- 問7 九州南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大噴火による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された台地を何と呼びますか。（2020年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|--------|---------|--------|
| 1. シラス台地 | 2. 三角州 | 3. カルデラ | 4. 扇状地 |
|----------|--------|---------|--------|
- 問8 佐賀平野などの農業で見られる、同じ耕地を利用して4月から6月にかけては麦を栽培し、その収穫が終わった後の夏から秋にかけて米を栽培するという、1年間に2種類の異なる農作物を育てる方法を何といいますか。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|--------|-------|
| 1. 二毛作 | 2. 促成栽培 | 3. 二期作 | 4. 単作 |
|--------|---------|--------|-------|
- 問9 鹿児島県において、火山活動による噴出物が堆積して形成された台地は、標高が急上昇したのちに平坦な面が広がる地形で構成されています。この台地を形成し、水はけが非常に良いという性質を持つ地層や物質の名称として、最も適切なものを選択してください。（2020年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|----------|--------|--------|
| 1. 泥炭 | 2. 関東ローム | 3. シラス | 4. マサ土 |
|-------|----------|--------|--------|
- 問10 鹿児島県のシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産業が中心となってきた理由を、土地の性質に着目して説明したものとして正しいものはどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 土地が非常に低く湿っており、大雨のたびに冠水するため、水田を維持することが困難だったから。 | 2. 土地に含まれる火山性の成分が米の根を枯らしてしまうため、植物の栽培自体が不可能だったから。 | 3. 土壌の粒子が粗く水はけがよすぎるため、稲作に必要な水を地表に蓄えるのが難しかったから。 | 4. 標高が非常に高く年間を通じて気温が低いため、米の成長に必要な積算温度が不足していたから。 |
|--|--|--|---|
- 問11 鹿児島県などの火山地帯に多く見られる、火山の噴火によって形成された大規模なくぼ地である「カルデラ」の説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 火山の周囲を流れる河川の浸食作用によって、山頂付近が大きく削り取られてできた地形である。 | 2. 大規模な噴火の際、地下のマグマが排出されたことでできた空洞が崩落してできた地形である。 | 3. 噴火の際に出た火山灰が周囲の低地に厚く堆積し、周囲よりも低く見えるようになった地形である。 | 4. 地震による断層運動によって地盤が沈み込み、そこに雨水が溜まってできた地形である。 |
|---|--|--|---|
- 問12 鹿児島県において、6月から7月にかけて降水量が著しく多くなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 梅雨前線がこの地域に停滞しやすい、南方からの暖かく湿った空気が供給されやすいため | 2. シベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、山脈にぶつかり上昇気流を発生させるため | 3. 年間を通じて安定した偏西風の影響を受け、瀬戸内海からの湿った空気が継続的に流れ込むため | 4. 夏に小笠原高気圧が後退し、冷涼な北東の風である「やませ」が吹き込むことで大気が不安定になるため |
|---|---|--|--|
- 問13 ある都市の気象統計において、6月や7月の梅雨の時期に降水量が多く、さらに9月に台風の影響で年間最大の降水量のピークが見られる気候的特色を持つ都市はどこですか。また、その主な要因は何ですか。（2023年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日本海を流れる対馬海流の影響を受け、冬の降水量が夏よりも多くなる福岡市 | 2. 周囲を高い山々に囲まれた盆地であり、年間を通して降水量が非常に少ない長野市 | 3. 太平洋からの季節風が九州山地に遮られることや、台風の通り道となることが要因である宮崎市 | 4. 南西諸島に位置し、年間を通して気温が高く、梅雨の時期が本土より早い那覇市 |
|--|--|--|---|